

【目次】

1. 日本労働会館平成25年度第5回理事会開く、5月20日！
2. 伊達美徳氏の講演会「山口文象が青雲荘に込めたメッセージ」を開催、5月27日！

1. 日本労働会館平成25年度第5回理事会開く、5月20日！

日本労働会館は5月20日、平成25年度第5回理事会を開催し、①平成25年度事業報告、②同決算報告、③同公益目的支出計画実施報告を確認するとともに、①理事の退任及び選任に関する件、②常勤役員に対する報酬に関する件、③旅費規定の一部変更に関する件、④役員退職慰労金支給に関する件、④顧問に関する規程及び顧問の委嘱に関する件について協議・確認しました。

2. 伊達美徳氏の講演会「山口文象が青雲荘に込めたメッセージ」を開催、5月27日！

友愛労働歴史館は労使関係研究協会と共催で5月27日午後、講演会「松岡駒吉、山口文象が青雲荘に込めたメッセージ」を開催しました。講師は山口文象の研究者・伊達美徳氏（写真）。松岡駒吉は戦前の総同盟会長などを務めた人物で、1936年の青雲荘アパート・友愛病院（現友愛会館）の発注者。一方、山口文象は戦前昭和期を代表するモダニズム建築家で、青雲荘・友愛病院の設計者です。



講演で伊達氏は、1時間半に亘り、スライドを多用しつつ解説を行いました。また、参考資料（「青雲荘・友愛病院」、「松岡駒吉の言」、「診療所を持つアパート・山口文象」、「山口文象による国際建築の推進・佐々木宏」、「惟一館から120年間に登場した7つの建築物」）を配布。これは記録としても大切なので一部を転載します（一部修正）。なお、希望者には伊達美徳氏の写真資料をメール送付します。

「日本の労働組合最初の病院と賃貸共同住宅のモダン建築青雲荘アパートメント・友愛病院」

「いま、ガラス張り高層現代建築の「友愛会館・三田会館」が建っているこの場所は、ちょうど120年前に建ったキリスト教会を拠点として、日本での社会主義と労働運動が発祥した地である。その活動拠点となった建物は、キリスト教ユニテリアン派の「惟一館」であった。その建築設計者は、日本の近代建築の父のジョサイア・コンドルである。



この惟一館を拠点に活動した鈴木文治は、1912年にここで労働者の福利共済のために「友愛会」を結成した。それがやがて「総同盟」となり、現代の「連合」となる。総同盟は1931年（昭和6年）に惟一館を買って「日本労働会館」として、労働組合運動の活動拠点とした。

そして1935年（昭和11年）、その隣に勤労者向け賃貸共同住宅と病院の入った白亜のモダン建築を建設した。日本の労働組合として初めての事業である。その建築設計者は、そのころ最先端モダンデザインで売り出し中の新進建築家の山口文象であった。英国人建築家による明治期の和洋折衷デザインの作品と、日本人建築家による昭和初期洋風モダンデザインの作品が並んで、それは特異な風景であった。労働運動のリーダーの松岡駒吉は、なぜこのモダンデザイン建築を採用したのだろうか。新進建築家の山口文象は、この作品でなにを表現したかったのだろうか。」

「惟一館から三田会館へ、120年間に次々に登場した7つの建築」

- 1887年 福澤諭吉らの招請でアメリカのキリスト教一派ユニテリアン教会が日本に初めて到来した
- 1888年 松岡駒吉が鳥取県で生まれた
- 1894年 東京芝区三田四国町にユニテリアン教会「惟一館」完成、J・コンドル設計、3月25日献堂式、久米邦武ら演説、福沢諭吉ら祝詞
- 1898年 惟一館で社会主義研究会（安部磯雄・片山潜ら）発足
- 1901年 惟一館で安部磯雄らが社会民主党結成、2日後結社禁止命令
- 1902年 山口文象が東京の浅草で生まれた
- 1911年 東京ユニテリアン教会が統一基督教会と改称、鈴木文治が幹事に
- 1912年 惟一館で鈴木文治を会長として「友愛会」設立
- 1817年 松岡駒吉が東京友愛会本部に着任
- 1919年 友愛会を大日本労働総同盟友愛会（総同盟）に改称
- 1920年 J・コンドル東京で逝去。総同盟が日本労働学校を開校
- 1923年 山口文象が創宇社建築会を結成、次第に左翼化する
ユニテリアン教会が関東大震災や会員減少で日本から撤退
- 1930年 総同盟が惟一館の土地建物を買収。山口文象たちが新興建築家連盟を結成するも赤宣伝によって瓦解。山口文象がヨーロッパ遊学（～1932年）、ベルリンのW・グロピウスに師事して最先端の建築デザインに携り、日本人左翼グループと交流
- 1931年 総同盟が財日本労働会館（松岡駒吉理事長）を設立、財団資産とした惟一館を改装して「日本労働会館」に。労働運動の拠点に
- 1934年 松岡駒吉が日本労働総同盟会長となる
- 1936年 「青雲荘アパート・友愛病院」建設（設計：山口文象）建設
- 1938年 牛込の神楽坂食堂を東京市から引き継ぎ営業開始
- 1939年 川崎に第2青雲荘・友愛病院を開設
- 1940年 政府の産業報国会強制加入措置に反対して総同盟が自主解散
- 1945年 米軍機空襲で日本労働会館は炎上焼失、青雲荘は一部燃え残り
- 1946年 松岡駒吉が再建した総同盟会長に。青雲荘の焼け残りコンクリートビルを修復し神楽坂食堂の権利を継承した「芝園橋食堂」を開設
- 1949年 労働会館跡に「総同盟会館」と「全繊維同盟会館」を建設
- 1958年 松岡駒吉が東京で逝去
- 1964年 「三田会館・友愛会館」を建設（設計：大阪建築事務所）
- 1977年 駐車場用地に「ホテル三田会館」を建設（設計：大建設計）
- 1978年 山口文象が東京で逝去
- 2012年 更地にして「友愛会館・三田会館」建設（設計：安井設計事務所）

惟一館→日本労働会館



青雲荘アパート・友愛病院→芝園食堂



総同盟会館、全繊維同盟会館



ホテル三田会館、三田会館・友愛会館

